

2019年3月期 第2四半期決算説明会

2018年11月29日



フランスベッドホールディングス株式会社

<https://www.francebed-hd.co.jp/> 証券コード：7840

- ◆ **2019年3月期 第2四半期業績報告**
- ◆ **2019年3月期 通期業績見通し**
- ◆ **今後の主な取り組みについて**

2019年3月期
第2四半期
業績報告

1. 連結業績

(百万円)	2018・3期 第2Q 実績	2019・3期 第2Q 実績	前期比	
			増減額	増減率
売上高	25,499	25,296	▲203	▲0.7%
営業利益	1,172	1,141	▲31	▲2.6%
経常利益	1,183	1,156	▲26	▲2.2%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	751	689	▲61	▲8.2%

■ 1株当たり四半期純利益 17.48円

2. セグメント別損益

(百万円)	売上高 ※			営業利益		
	2019・3期 第2Q実績	前期比		2019・3期 第2Q実績	前期比	
		増減額	増減率		増減額	増減率
連結計	25,296	▲203	▲0.7%	1,141	▲31	▲2.6%
メディカル サービス事業	14,499	+363	+2.5%	1,216	+251	+26.0%
インテリア健康 事業	9,118	▲513	▲5.3%	▲105	▲290	-
その他	1,677	▲53	▲3.1%	23	+14	+148.7%
調整額	-	-	-	6	▲7	▲52.8%

* 売上高は、外部顧客に対する売上高となります。

3. メディカルサービス事業の概況

(百万円)	2018・3期 第2Q実績		2019・3期 第2Q実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	14,136	100%	14,499	100%	+363	+2.5%
営業利益	965	6.8%	1,216	8.3%	+251	+26.0%
介護関連 レンタル売上※	7,567	53.5%	7,957	54.9%	+389	+5.1%
病院施設向け 物件取引※	1,887	13.4%	1,853	12.8%	▲33	▲1.7%
その他※	4,683	33.1%	4,693	32.4%	+10	+0.2%

※水色の網掛部分の実績、構成比は、事業会社のフランスベッド(株)単体の数値です。

【売上高増収要因】

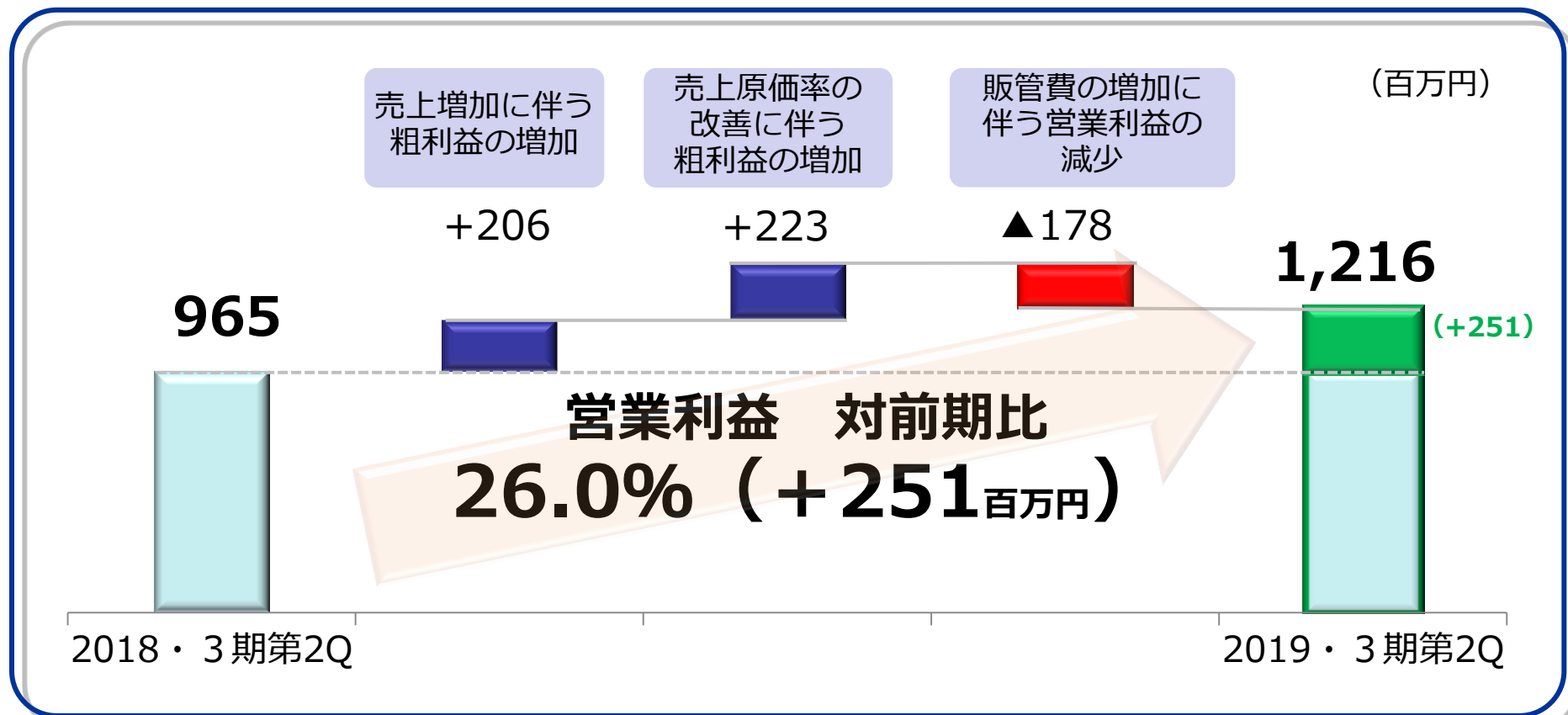
- ・「自動寝返り支援ベッドFBN-640」など新製品の販売・レンタルが伸びたことにより、主力の福祉用具貸与事業が好調に推移した結果、セグメント全体では増収。

【営業利益増益要因】

- ・販管費及び一般管理費は増加するも、増収効果と原価率の改善効果により増益。

4. メディカルサービス事業の営業利益増減要因

● メディカルサービス事業 営業利益増減要因



<営業利益増減の主要因は、売上の増加と売上原価率の改善>

- ・売上が増加した主要因：主力である福祉用具貸与事業の好調（新製品・既存製品の販売・レンタルが堅調に推移）
- ・販管費が増加した主要因：人件費などの増加

5. インテリア健康事業の概況

(百万円)	2018・3期 第2Q実績		2019・3期 第2Q実績		前期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	9,632	100%	9,118	100%	▲513	▲5.3%
営業利益	184	1.9%	▲105	-	▲290	-
ホテル向け売上※	878	-	940	-	+62	+7.0%

※水色の網掛け部分の数字は、事業会社のフランスベッド(株)単体の数値です。

【売上高減収要因】

- ・シティホテル、ビジネスホテル等への法人向け販売は好調に推移。
- ・売上の約6割を占める家具販売店向け売り上げが急激に減少。

【営業損益赤字転落要因】

- ・売上の減少に加え、納配運賃の高騰等販売費の増加により営業赤字に転落。

6. 連結貸借対照表

(百万円)	前期末 ※ (2018.3.31)	当2Q末 (2018.9.30)	前期末との比較 増減額
流動資産	32,739	29,598	▲ 3,140
固定資産	32,362	33,573	1,210
繰延資産	38	89	50
資産合計	65,140	63,260	▲ 1,879
流動負債	17,346	15,264	▲ 2,081
固定負債	6,909	8,185	1,276
負債合計	24,256	23,450	▲ 805
株主資本	34,628	33,843	▲ 784
その他の包括利益累計額	6,255	5,966	▲ 289
純資産合計	40,884	39,810	▲ 1,074
負債純資産合計	65,140	63,260	▲ 1,879
自己資本比率	62.7%	62.9%	+0.2pt

※前期末の数値は、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を当期首から適用しているため、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっている。

連結貸借対照表の状況 (総資産は前期末比1,879百万円減少し、63,260百万円)

- ①資産の部 (▲1,879百万円) ■流動資産 (▲3,140百万円) ■固定資産 (+1,210百万円)
- ②負債の部 (▲805百万円)
- ③純資産の部 (▲1,074百万円)
- ④自己資本比率 : 62.9% (+0.2pt)

7. キャッシュ・フローの状況

(百万円)	営業活動によるCF	投資活動によるCF	財務活動によるCF	現金及び現金同等物期首残高	現金及び現金同等物増減額	現金及び現金同等物期末残高
2018・3期第2Q	3,322	▲1,858	▲776	13,648	685	14,334
2019・3期第2Q	2,098	▲2,247	▲1,374	13,254	▲1,529	11,724
前期比	▲1,223	▲388	▲597	▲394	▲2,215	▲2,609

連結キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物残高は11,724百万円。前期末比1,529百万円減少。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー (2,098百万円の収入)

(収入) 税引前四半期純利益 1,098百万円、減価償却費(非資金費用) 2,002百万円の計上、売上債権の回収1,554百万円など

(支出) 仕入債務の支払い626百万円、法人税等の支払い1,364百万円など

② 投資活動によるキャッシュ・フロー (2,247百万円の支出)

(収入) 土地の売却167百万円、在外子会社の清算に伴う収入55百万円など

(支出) 有形固定資産の取得 2,145百万円、投資有価証券の取得200百万円など

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー (1,374百万円の支出)

(収入) 社債の発行 2,938百万円、セール・アンド・リースバック 1,311百万円など

(支出) 社債の償還 3,150百万円、リース債務の返済 984百万円、配当金の支払い 502百万円、自己株式の取得987百万円など

2019年3月期 通期業績見通し

1. 連結損益計画

● 2019年3月期 連結業績予想と計画に対する進捗率

(百万円)	2019・3期 計画値 (2018・4~2019・3)	2019・3期 第2Q実績 (2018・4~2018・9)	計画進捗率
売上高	53,000	25,296	47.7%
営業利益	2,800	1,141	40.7%
経常利益	2,730	1,156	42.3%
親会社株主に帰属する 当期（四半期）純利益	1,700	689	40.5%
1株当たり 当期（四半期）純利益(円)	42.21	17.48	41.4%

※当初（2018年5月11日）公表した業績予想からの修正はございません。

2. セグメント別損益計画

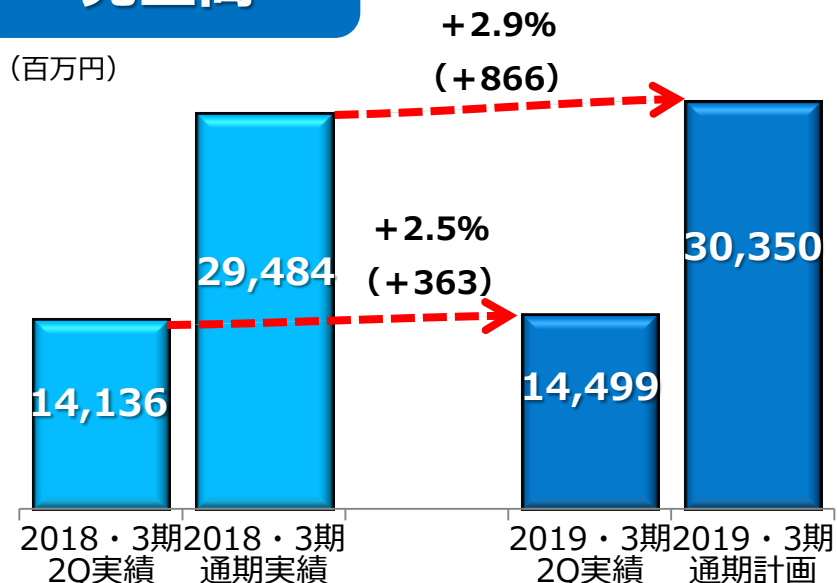
● 2019年3月期 セグメント別業績予想、計画に対する進捗率

		2019・3期 計画値 (2018・4~2019・3)	2019・3期 第2Q実績 (2018・4~2018・9)	計画進捗率
(百万円)				
メディカル サービス事業	売上高	30,350	14,499	47.7%
	営業利益	2,360	1,216	51.5%
インテリア 健康事業	売上高	19,350	9,118	47.1%
	営業利益	400	▲105	—
その他	売上高	3,300	1,677	50.8%
	営業利益	10	23	230.0%
調整額	売上高	—	—	—
	営業利益	30	6	20.0%
合 計	売上高	53,000	25,296	47.7%
	営業利益	2,800	1,141	40.7%

※2018年5月30日の決算説明会で公表した業績予想からの修正はございません。

3. メディカルサービス事業の見通しと主な取り組み

売上高

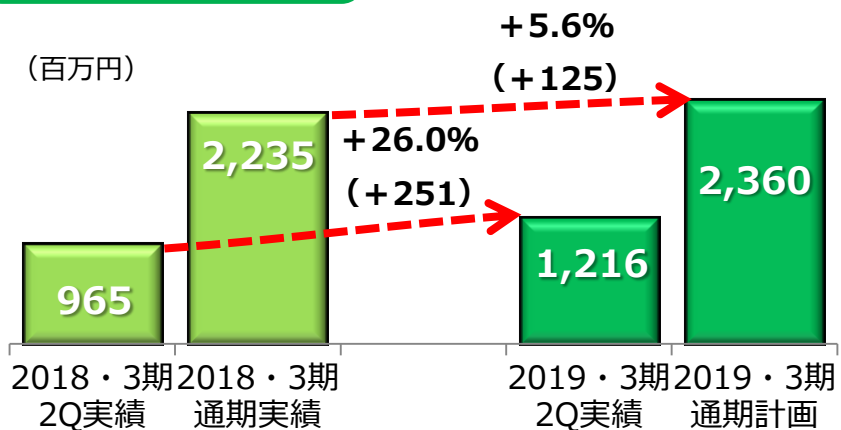


【2019年3月期 通期計画】
売上高：30,350百万円
 (前期比2.9%増)
営業利益：2,360百万円
 (前期比5.6%増)

主な施策

シルバービジネスの更なる強化
 (得意分野への経営資源の集中)

営業利益

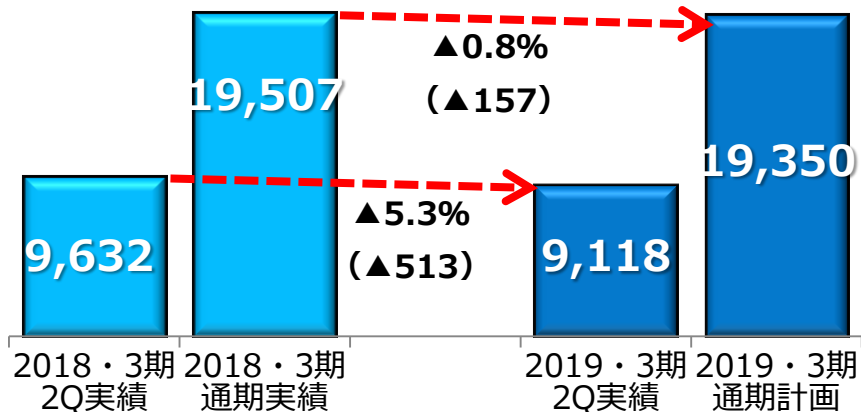


- ① メディカルサービス事業への経営資源の集中による事業拡大
- ② 在宅介護向け福祉用具貸与市場でのシェア拡大
- ③ 介護保険に過度に依存しないビジネスモデルの確立

4. インテリア健康事業の見通しと主な取り組み

売上高

(百万円)



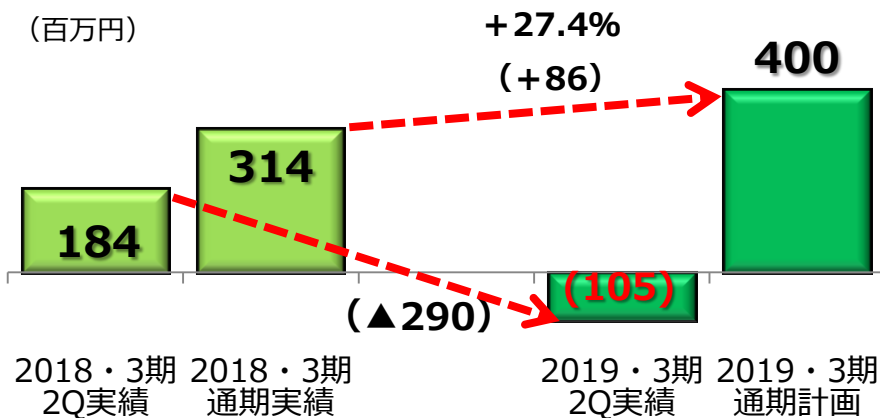
【2019年3月期 通期計画】
売上高：19,350百万円
 (前期比 0.8%減)
営業損益：400百万円
 (前期比27.4%増)

主な施策

収益性の改善
 (「量から質」への転換)

営業利益

(百万円)



- ① 販売戦略の見直し
- ② 費用削減

5. 設備投資について

(百万円)		2018・3期 通期実績	2019・3期 2Q実績	2019・3期 下期計画	2019・3期 通期計画
設備 投資 額	レンタル資産	3,155	1,853	1,780	3,633
	工場生産・物流 設備	352	156	460	616
	ソフトウェアの 取得	298	40	110	150
	その他	92	383	430	813
	合計	3,898	2,433	2,780	5,213
減価償却費		3,886	2,002	2,000	4,002

<主な設備投資実績および計画>

2019年3月期 第2四半期実績

■ レンタル資産取得：1,853百万円（メディカルサービス事業）（前期比+302百万円）

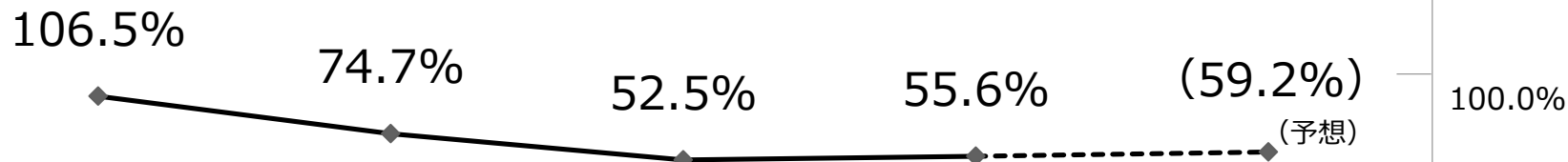
2019年3月期 通期計画

■ レンタル資産取得：3,633百万円（メディカルサービス事業）（前期比+478百万円）

6. 配当について

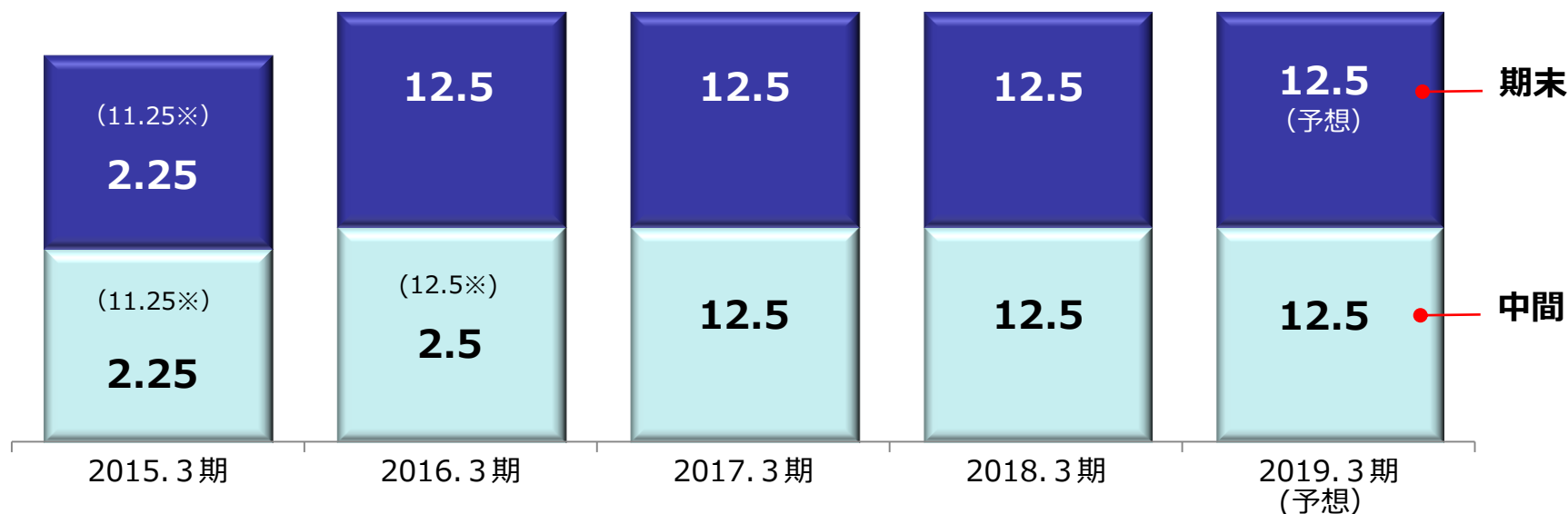
● 1株あたり配当金と連結配当性向の推移

連結配当性向



1株あたり配当金 (円)

■ 期末 ■ 中間



安定的な配当を継続

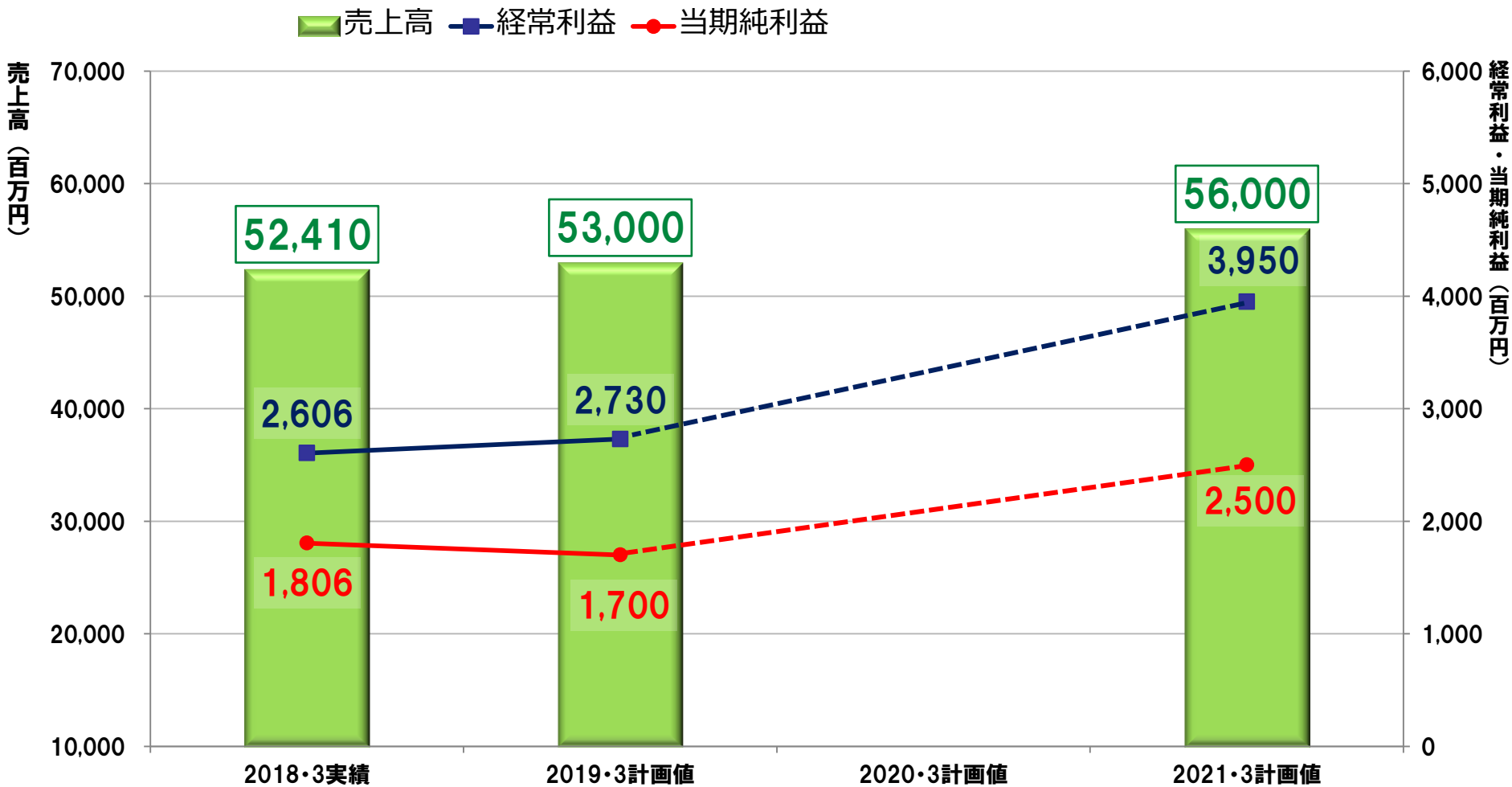
※2015年10月1日を効力発生日として実施した普通株式5株を1株とする株式併合を考慮した配当額を示しております。

今後の主な取り組みについて

1. 中期経営計画について
2. メディカルサービス事業
3. インテリア健康事業
4. その他

1. 中期経営計画について（全体計画）

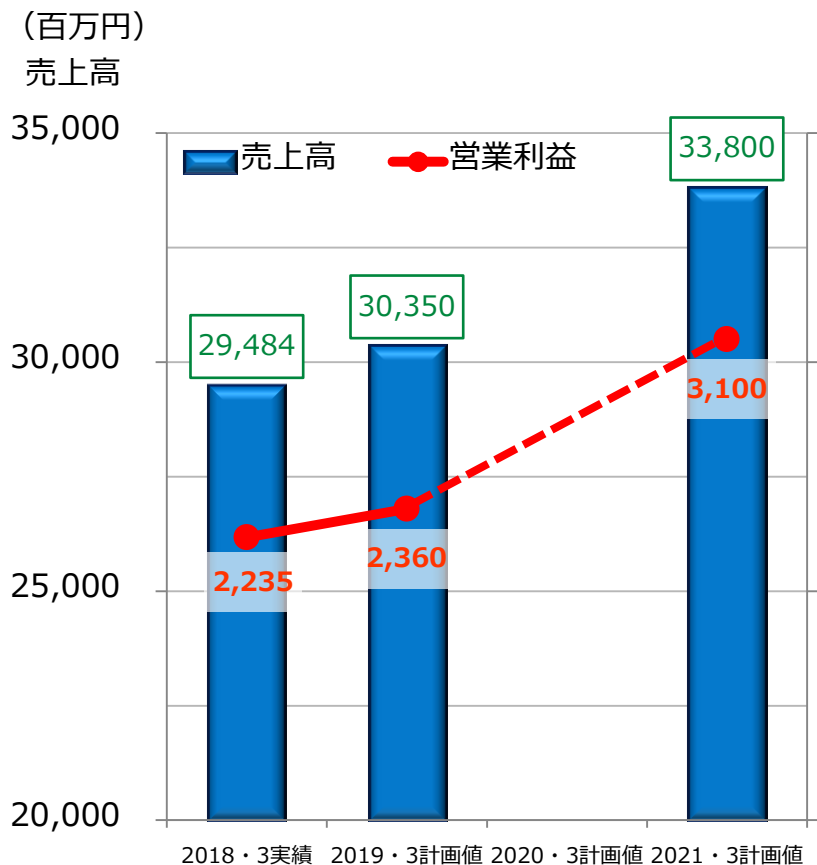
- ・ 2018年5月、2019年3月期～2021年3月期 新中期経営計画を発表
- ・ 最終年度に売上高560億円、経常利益39.5億円、当期純利益25億円を目指す



1. 中期経営計画について（セグメント別計画）

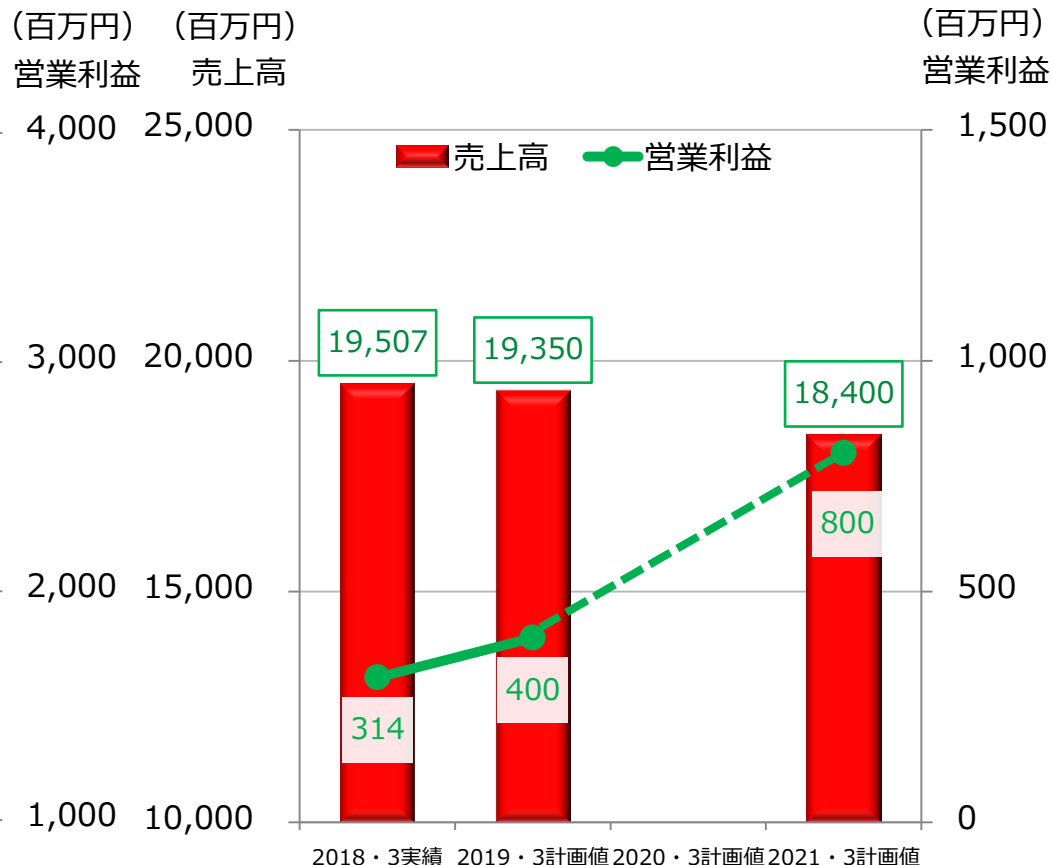
メディカルサービス事業

シルバービジネスの更なる強化



インテリア健康事業

収益性の改善



2. メディカルサービス事業

シルバービジネスの更なる強化（成長分野への経営資源の集中）

① メディカルサービス事業への経営資源の集中による事業拡大

◆ 「省力化」や「労力軽減」につながる商品の開発と拡販

- ・ 自動寝返り支援ベッドのレンタル及び販売促進
⇒ **2018.9より、医療・福祉施設向けレンタルも開始**
- ・ ロボットやIoT等を活用した商品の開発強化
⇒ **今後労力軽減・省力化につながる新商品を発表予定**



自動寝返り支援ベッド FBN-640



見守りケアシステム M-2

2. メディカルサービス事業

シルバービジネスの更なる強化（成長分野への経営資源の集中）

②在宅介護向け福祉用具貸与市場でのシェアの拡大

◆M & Aの推進や拠点の増設

- ・後継者問題を抱える事業者などがM & Aの主なターゲット
- ・営業員の増員、ならびに営業所の新規出店

{営業所 85拠点 (2018.3) ⇒ 95拠点 (2021.3計画) (+10) }

③介護保険に過度に依存しないビジネスモデルの確立

◆元気な高齢者の外出をサポートする「リハテック」ブランド商品の開発



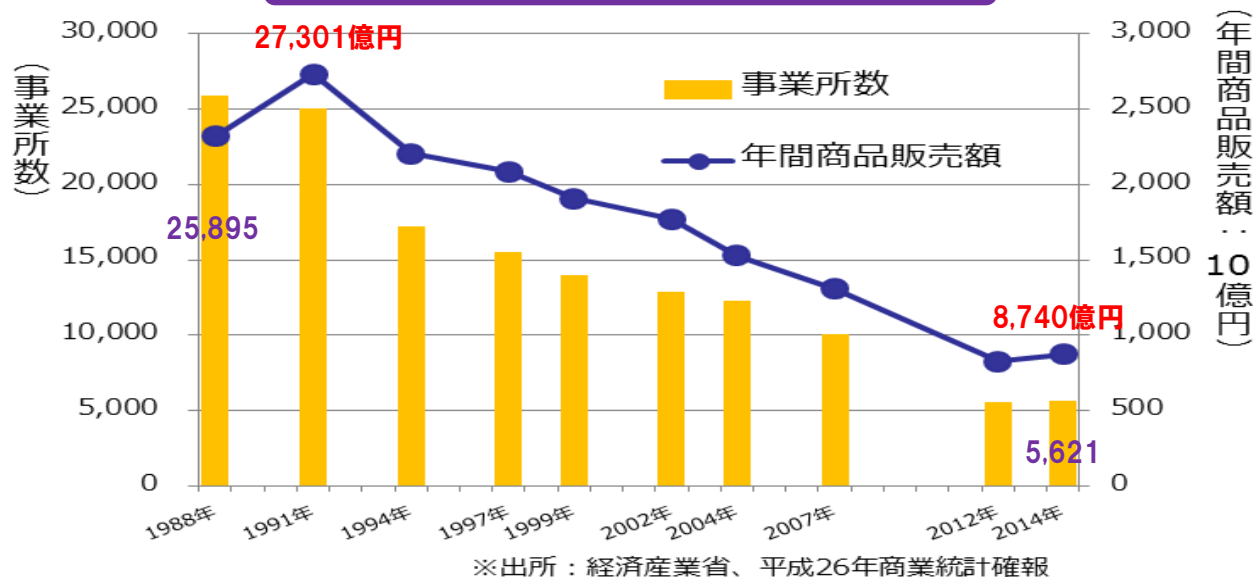
シルバーカー
新ラクティブ
(2018年5月発売開始)

3. インテリア健康事業

販売戦略の見直し

① 家具店以外の新規販路の開拓に注力

日本国内家具小売業事業所数と年間販売額の推移



約30年間で
事業所数 1 / 5、
販売額 1 / 3 に減少

◆ 今後も拡大が見込める住宅関連・ネット販売・ホームセンターなどの異業種への拡販に注力

<売上構成比率目標>

約 40% (2018.9実績) ⇒ 約 50% (2021.3計画)

3. インテリア健康事業

② ネット販売、異業種に向けた新たな商品の開発促進

◆ 宅配や持ち帰りが可能な組み立て式ベッドフレーム

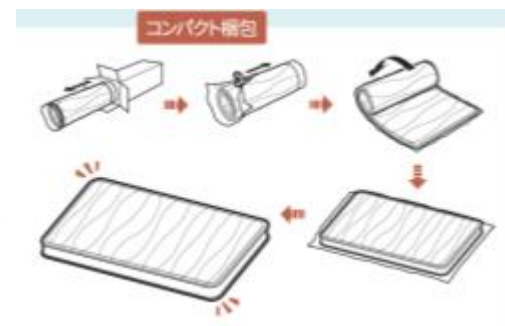
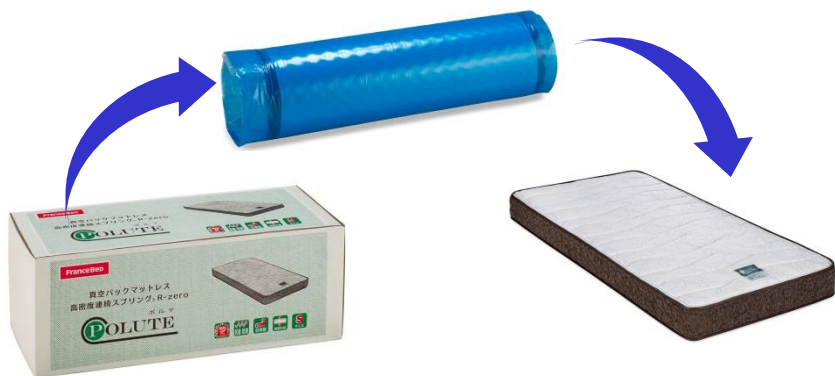
ワンパックベッド (参考商品)



◆ 宅配や持ち帰りが可能なロール式マットレス

高密度連続スプリング® ポルテ R-zero

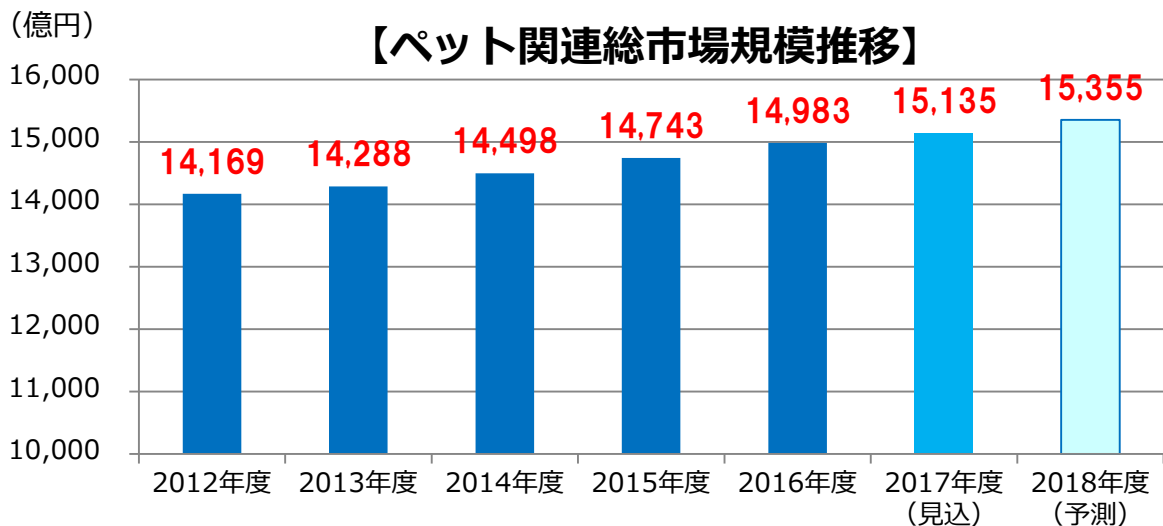
La deuxieme (ラ・ドゥーゼム)



3. インテリア健康事業

③ 拡大するペット市場への参入

◆ ペット関連商品の開発



- ・ イヌと猫の飼育頭数は頭打ちの傾向にあるものの、室内飼いの増加により平均寿命は伸長。
- ・ ペットを家族の一員と捉える家庭が増え、支出は増加傾向。

出典：矢野経済研究所調べ、小売り金額（末端金額ベース）



ラクティブペット



ペット用天蓋ベッド
(参考商品)



ペット用仏壇
(参考商品)

3. インテリア健康事業

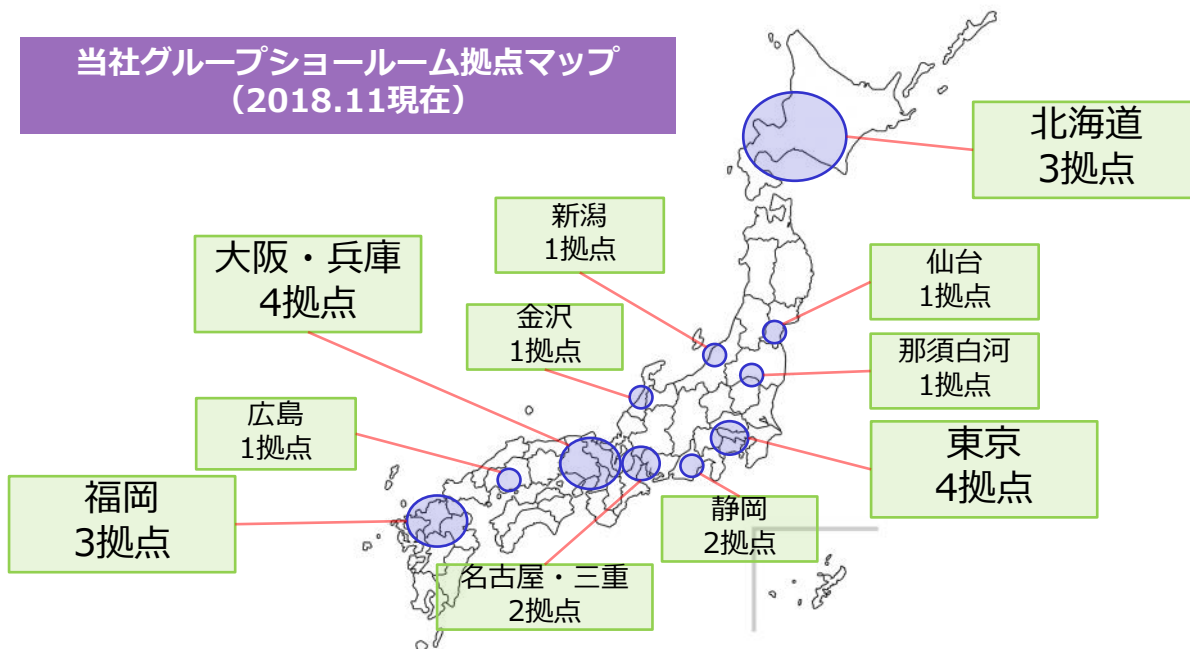
④ 自社グループショールームを活用した売上の拡大

◆ 中高級品を実体験できる取引先の第2の売り場として活用

- ・ ネットでは販売されない自社の中高級品を実際に体験してもらう
- ・ インターネットを利用したネット集客を活用して取引先と協業した展示販売会を実施

< 自社グループショールーム数（催事場等含む）増設目標 >

23拠点（2018.11実績） ⇒ 27拠点（2021.3計画）



3. インテリア健康事業

費用削減

①商品アイテム数の絞り込みによる商品競争力の強化

◆不採算商品の生産を中止して機種統廃合を進める

約2,100種類 (2018.3実績) ⇒ **約700種類** (2021.3計画)

◆機種統廃合の推進により評価損／処分損の発生を抑制

約1億円 (2018.3実績) ⇒ **約3~4千万円** (2021.3計画)

◆取引先に対する仕切り政策の見直し



上記施策により粗利率 2ポイント以上の改善を目指す

3. インテリア健康事業

②生産部門の費用削減

- ◆生産設備の集約・生産行程の自動化／省力化による製造原価低減



製造費用を1億円程度削減

③販売部門の費用削減

- ◆定年延長者（継続雇用者）の有効活用
 - ・マネキン内製化による外部流出費用の削減
 - ・業容の拡大により人員が不足しているメディカル部門での活用
- ◆WEB受注システムの導入による業務省力化



販売費を2億円程度削減

4. その他（将来を見据えた施策）

環境問題に配慮した商品の開発

現在問題となっているベッドの廃棄処分問題に対応した、
処分時の解体・分割が容易、且つ分別可能なマットレスの開発

環境対応マットレス【リコプラス】



4. その他（ベッドの新素材、ならびに投資戦略）

事業上のシナジー効果が期待できる企業への投資

石灰石を主原料とする新素材「LIMEX」を開発・製造・販売する株式会社TBM社と新たなインテリア素材等を共同開発

- ・ 資源の減少により価格が高騰している木材（パーティクルボードやMDF）に代えて、環境にやさしく軽量の「LIMEX」素材を用いたベッド用床板、フレームなどを共同開発
- ・ 「LIMEX」素材と当社の独自技術GATを用いた化粧シートを共同開発

フランスベッド × LIMEX





質疑応答

(問合せ先)

経営企画室室長 原田正裕 Email: ir@francebed-hd.co.jp

経営企画室主任 内田寛昭 同上

(将来見通しに関する注意事項)

本日のプレゼンテーションの中には、弊社の予想、確信、期待、意向および戦略など、将来の予測に関する内容が含まれています。これらは、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化による変動可能性など様々な要因によって、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なってしまう可能性があります。弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、改訂する義務を負うものではありません。

上記の不確実性および変動の要因としては、以下に挙げる内容を含んでいます。
また、要因はこれらに限定されるわけではありません。

- 主要市場における経済情勢および需要・市況の変動
- 主要市場における政治情勢や貿易規制等各種規制
- 為替相場の変動
- 競争企業の製品・サービス、価格政策、アライアンス、M & Aなどの事業展開
- 弊社の提携関係に関する提携パートナーの戦略変化
- 原価低減や設備投資を計画通り実施する弊社の能力
- 新製品を開発し市場へ投入する弊社の能力